



# こんにちは、ふちせ栄子です。

電話 095-849-6481 メール eiko@mail.117.cx ホームページ [ふちせ](#) [検索](#)

## 会場いっぱい千人を前に、ふちせ栄子さんが熱弁

### 市田書記局長を迎えた日本共産党演説会は大盛況でした



6月22日、市田忠義書記局長を迎えた「日本共産党演説会」には、会場を埋める千人が参加し、大盛況でした。

ふちせ栄子さんは、「一生懸命働いているのに、まともな暮らしができない」という声が多いことを紹介しながら、自らが一ヶ月間体験した「時給611円の最低賃金での生活」を具体的に報告しました。

そして、「これでは最低限の生活もできない。せめて時給は一千円に」と訴え、日本共産党への支持を心から呼びかけました。

演説会の参加者からは、「市田さんの話は分かりやすく、元気が出ました」、「ふちせさんは、そのまじめな性格がにじみ出る演説でした。若者の話には、思わず涙が出ました」などの、感想が寄せられました。

また、ふちせさんの地元、西海市大瀬戸からは漁協女性部の仲間数人が、演説会に参加。終了後、ふちせさんを抱きしめて、激励してくれました。

## 佐世保、大村、諫早、長崎で 青年とともに、日本共産党への支援呼びかけ

佐世保市で



6月20日、「青年キャラバン」が長崎県に入りました。ふちせ栄子さんは、日本共産党の青年サポーターとともにカラフルな宣伝カーに同乗。佐世保市、大村市、諫早市、長崎市で、青年とともにマイクをにぎりました。

青年たちは、「僕の時給は9百円」など、自らの体験を語りながら、「青年の願いを共産党へ」と、一生懸命呼びかけました。

ふちせ栄子さんは、「若者が粗末にされる社会を変えていきたい」と訴え、各所で「頑張れ」の声援が寄せられました。

## 県民の願い担って、西に東に

6月8日は、参院比例とふちせ栄子事務所びらき。多くの報道陣の前で、「憲法9条守れの願いは、ふちせ栄子に」と訴えました。



五島市の商店街で

また、6月初旬は五島遊説。各所で街頭演説しながら、新上五島町や五島市では集会を開催。「離島の願いを届けてほしい」と、切なる要望がふちせさんに託されました。

自衛隊の違憲・違法な国民監視活動。ふちせさんは11日と14日、長崎市と佐世保市の自衛隊施設を訪れ、「国民監視はただちに中止を」と強く申し入れました。

6月19日は地元西海市を遊説。「今の政治はおかしい。共産党に頑張ってもらいたい」など、多くの願いが寄せられました。

## 連載中の「ちょっとエッセイ」から



如己堂の前で

17日、長崎県母親大会に参加し、弁護士の平山知子さんの講演をお聞きました。心打つ話で、何度も涙しました。中でも永井隆博士の「いと子よ」という著書の引用は、強く心に響きました。

当時は今の憲法が誕生して間もない時でした。博士は憲法9条の重

要さを強調した後、情勢によっては日本人の中から9条を変えよという声が出るかもしれない。その時は、「戦争絶対反対」を最後まで叫び続けるよう、二人の子どもに諭しているのです。

講演を聞いたあと私は、永井記念館と博士が過ごした「如己堂」に立ち寄りしました。そして、「永井博士。あなたの9条への思い、私たちが確かに引き継いでいきます」と、そっと、そしてしっかり誓いました。(6/19 付より) (ホームページ連載中)